



結果よりも過程を大切に

校長 小森 康貴

4月7日に令和7年度がスタートしました。

新年度のスタートにあたり、多くのこどもは、めあて（できるようになりたいことやがんばりたいことなど）をもって進学していると思い、始業式で次のような話をしました。

校長先生の前期のめあては

「10月10日の始業式までに2kg痩せる」

です。そのために、

「大盛りをやめる」「1週間に1回筋力トレーニングをする」

の2つを続けます。

「2kg痩せる」ことよりも、「大盛りをやめる」と「1週間に1回筋力トレーニングをする」の2つを続ける方が大切だと思います。

体調を崩して2kg痩せてもうれしくありません。でも、2kg痩せることができなくても続けられたら自分を褒めることができます。

「2kg痩せる」は結果です。「大盛りをやめる」「1週間に1回筋力トレーニングをする」は過程です。私は、結果よりも過程を大切にしてほしいというメッセージを伝えたいのです。「テストで100点を取る」「徒競走で1位になる」といった周囲から称賛されるような結果は、もちろんうれしいことですし、喜ぶべきことです。しかし、とても簡単なテストであれば100点を取ることは容易ですし、競争相手が明らかに自分よりも劣っていれば1位になることはできます。逆に、テストの点数は30点でも、徒競走で最下位でも、それまでに勉強や練習を頑張った結果であればとても価値のあることです。とはいっても、子どもは、どうしても結果ばかりを気にしてしまいます。

そこで、保護者のみなさんにお願いします。お子さんの過程に目を向け、努力していることや継続していることをたくさん褒めてください。結果ももちろん褒めてほしいのですが、そのあとに「宿題を忘れずにしていたね」「音読を続けてすごいね」「嫌がらずに手伝いをしたね」といった過程も褒めてください。

職員に対しても過程を褒めるように話しています。家庭と学校の両方が、子どもの過程をたくさん褒めれば、きっとよい結果もついてくることと思います。よろしくお願いします。

私も、10月10日により結果が報告できるように、子どもに宣言をした「大盛りをやめる」「1週間に1回筋力トレーニングをする」を継続します。